

令和6年度 小原享子 活動報告書

月 日	内 容
6月3日	岐阜県羽島市行政視察 「軟骨伝導イヤホンの利用状況について」 健幸福祉部 高齢福祉課 課長 伊藤公彦
7月10日 ～11日	「全国地方議会サミット2024」 場所：早稲田大学井深大記念ホール 内容 ・基調講演 「生活を支える強い地域を議会がつくる」 早稲田大学マニフェスト研究所 顧問北川 正恭 氏 ・パネルディスカッション「能登半島地震被災地の議会からの報告」 輪島市議会議員・元議長 椿原 正洋 氏 珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏 能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏 セッション「震災・災害対応の経験と自治体間支援の現場から」 ・講演「熊本地震の経験と自治体間支援の現場から」 熊本市長 大西 一史 氏 ・講演「能登半島地震と珠洲市の状況と対応」 珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏 対談 大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏 ・講演「防災DXの最前線と今後の展開」 国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長 防災DX官民共創協議会 理事長 臼田 裕一郎 氏 ・講演「災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活 用の可能性」 佐賀県庁・JAXA ・総務省地域情報化アドバイザー 宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

- ・講演「東日本大震災の経験から」

元総務大臣 片山 善博 氏

セッション「非常事態への備えと議会の対応・役割」

- ・講演 法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏

- ・[パネルディスカッション]

コーディネーター 法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏

「東日本大震災の経験をふまえた災害対応」

久慈市議会 議長 濱欠 明宏 氏

「大規模復興と議会のあり方」

陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜 氏

「住民避難・離散と自治体・議会の活動」

双葉町長 伊澤 史朗 氏

- ・講演「デジタル・生成AIを活かす」

デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏

セッション「議会改革の最新トレンドとトピックス」

- ・講演「議会改革の軌跡と展望ーマニフェスト選挙から20年、その先に！ー」

大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

- ・パネルディスカッション「議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携」

可児市監査委員事務局長 平田 祐二 氏

あきる野市議会議員・議選監査委員・元議長 子籠 敏人 氏

コーディネーター 可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩 氏

コメンテーター 大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

セッション「委員会代表質問を活かす」

- ・講演 法政大学 教授 土山 希美枝 氏

- ・事例 甲賀市議会 副議長 田中 將之 氏

- ・事例 別海町議会 議長 西原 浩 氏

- ・講演「早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査から」

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

10月9日 ～10日	第19回 全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡 場所：トーサイクラシックホール岩手 内容 ・基調講演「人口減少社会における地域の未来図」 第99代内閣総理大臣 菅 義偉 ・パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」 コーディネーター 静岡大学人文社会科学部法学科教授 井柳美紀 パネリスト 法政大学法学部教授 土山希美枝 一般社団法人WONDER EDUCATON代表理事 越智大貴 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 渡辺喜久 盛岡市議会議長 遠藤政幸 ・課題討議「主権者教育の取組報告」 コーディネーター 東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村和徳 事例報告者 伊那市議会前議長 白鳥敏明 四日市市議会議員 諸岡 寛 山鹿市議会議長 服部 香代
1月29日	第25期自治政策特別講座 場所：東京都 電設年金会館 （オンライン参加） 内容 ・講義「地域の未来予想図」 千葉大学大学院 社会科学研究院 教授 倉坂秀史 ・講義「気兼ねなく『おでかけ』できる地域づくり」 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤博和
3月29日 ～30日	「マニフェスト・アワード・コレクション」 場所：ZOOM開催 内容 ・議会基本条例は、本当に役に立っているか？ 事例発表、パネルディスカッション 栗山町議会 議長 鶴川 和彦氏 芽室町議会 議長 梶澤 幸治氏 奥州市議会 議長 菅原 由和氏 コーディネーター：大正大学地域創生学部 教授 江藤 俊昭 ・住民を巻き込む最新事例と改革のポイントを探る

事例発表、パネルディスカッション

丹波市議会 議長 谷水 雄一氏

王寺町議会 議会事務局 村田大地氏

宮崎市議会 広報広聴委員会 委員長（副議長）日高 昭彦氏

広報広聴委員会 副委員長 金丸 勇太氏

コーディネーター：公益財団法人 日本生産性本部上席研究員
千葉 茂明

・進化する政策づくり

基調講演「SNSと選挙、政策づくり。課題とこれから」

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授/
博士(経済学)山口 真一氏

事例発表、パネルディスカッション

チーム安野 坪井遥氏

よこはま自民党 横浜市会議員 黒川 勝氏

コーディネーター：LM推進連盟事務総長・武蔵野市議会議員
川名 雄児

・市民と連携する投票率向上

事例発表、パネルディスカッション

北海道松前高等学校 阿部 将大氏

岐阜県若者の選挙意識を高める会（Novolt）代表 繁 ハナ子氏

選挙コンシェルジュ 松山市選挙管理委員会事務局 白川 剛士氏

コーディネーター：LM推進連盟共同代表・可児市議会議員
川上 文浩

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6 年 6 月 3 日

北上市議会議長 様

北上市議会
議 員 小原享子

私が参加した次の 視察・研修 について次のとおり報告します。

期間（期日）	令和 6 年 6 月 3 日（木）
視察先 視察内容 または 研修事項	岐阜県羽島市 健幸福祉部 高齢福祉課 「軟骨伝導イヤホンの利用状況について」

〔報 告〕

- 1、 軟骨伝導イヤホンについて
- 2、 軟骨伝導イヤホンの使用方法
- 3、 軟骨伝導イヤホンの利用状況

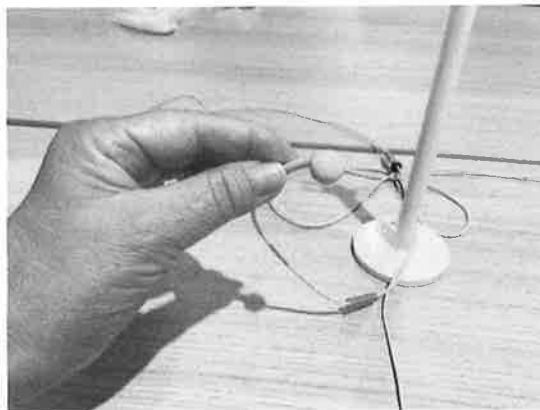
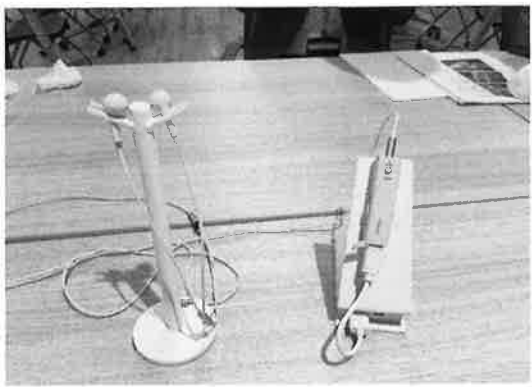
以上について、説明を受けた。

〔所 感〕

聴力は 40 歳から老化していくと言われる。市役所窓口は、様々な方が
来庁する中、その方々の相談を受ける機会や、説明をする必要のある窓口

が多い。更に、その内容は、プライバシーに関連することも多い。
コロナ禍後は、パネルの設置やマスクにへの対応が主となり、聞き取りにくい状況もある。
聴こえが悪くなってきたかたへの対応の基本は、大きな声で、ゆっくりはっきり話すこととなるが、市の窓口は狭いスペースでの対応、耳元で会話も難しい。
難聴者への補聴器や集音機は、耳の入れて使う気道を使う補聴器、骨伝導を使つての補聴器等であったが、軟骨伝導を使う方法が2023年発表された。この軟骨伝導を使う方法は、外耳の軟骨を使うため、耳の奥まで補聴器を入れる必要がなく、骨を抑える訳でもなく、外耳に挿入ハウリングを起こすことがなく、自然に声を拾う。
高度の難聴の方には効果は少ないが、市の窓口などで耳の聴こえが悪くなってきた方、高齢等ではっきり聴こえない方の対応をする場合大きな効果が得られる。特に不特定多数の方が使うことを考えると、衛生的に取り扱える事も重要。この軟骨伝導イヤホンは、耳の奥に入れる必要もない事から、簡単にアルコールなどふき取ることもできる。
4月から実用で、27件のアンケート結果7割の方は満足の声がある。
市役所の窓口には、老眼鏡が置かれているが、同じように耳に支障が生じた方のための機器の設置が必要であり、この軟骨伝導イヤホンは有用と思われた。

軟骨伝導イヤホン



- スタンド込み 3万円位
- 耳の穴（外耳道）を取り巻く軟骨組織に振動を与え、外耳道内に音波が生まれ、鼓膜を振動、音を感じる。
- 耳の軟骨に軽く当てただけ
- 骨伝導より音漏れが小さい
- 消費電力、小さい。
- イヤホン本体は球形、汚れつきにくい。耳の奥まで差し込む必要がない。アルコールで消毒可能、衛生的。

ソーラー充電式 ヘッドフォン型集音機



- 価格：4万円くらい
- 着けるだけでスイッチオン
- ソーラーパネルで充電。
- LED 照明でも充電可能
- 面倒な説明不用
- 補聴器の上からでも使用可能
- 衝撃音は抑える

令和 6 年 5 月 24 日

北上市議会議長 菊池 勝 様

北上市議会議員 小原 享子

研修視察の実施について

下記のとおり研修視察を実施しますので通知します。

記

1 目 的	研修視察
2 期 日	令和 6 年 6 月 3 日（月）
3 研修会場	岐阜県羽島市
4 研修事項	「軟骨伝導イヤホン」の市役所窓口導入の効果
5 研修日程	令和 6 年 6 月 3 日（月） 13：00～14：30
6 そ の 他	

視察・研修等報告書

令和6年7月14日

北上市議会議長 様

北上市議会

議員 小原享子

私が参加した次の研修について次のとおり報告します。

期 間	6年7月10日（水）～7月11日（木）
研修事項	全国地方議会サミット 2024 テーマ「非常事態への備え これからの議会」

〔報 告〕

基調講演「生活を支える強い地域を議会がつくる」

早稲田大学マニフェスト研究所 顧問北川 正恭 氏

パネルディスカッション「能登半島地震被災地の議会からの報告」

輪島市議会議員・元議長 椿原 正洋 氏

珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏

能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏

セッション「震災・災害対応の経験と自治体間支援の現場から」

講演「熊本地震の経験と自治体間支援の現場から」

熊本市長 大西 一史 氏

講演「能登半島地震と珠洲市の状況と対応」

珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏

対談 大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏

講演「防災 DX の最前線と今後の展開」

国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長
防災 DX 官民共創協議会 理事長 白田 裕一郎 氏

講演「災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性」

佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー
宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

講演「東日本大震災の経験から」

元総務大臣 片山 善博 氏

セッション「非常事態への備えと議会の対応・役割」

講演 法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏

[パネルディスカッション]

コーディネーター 法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏

「東日本大震災の経験をふまえた災害対応」

久慈市議会 議長 濱欠 明宏 氏

「大規模復興と議会のあり方」

陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜 氏

「住民避難・離散と自治体・議会の活動」

双葉町長 伊澤 史朗 氏

講演「デジタル・生成 AI を活かす」

デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏

セッション「議会改革の最新トレンドとトピックス」

講演「議会改革の軌跡と展望ーマニフェスト選挙から 20 年、その先に！ー」

大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

パネルディスカッション「議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携」

可児市監査委員事務局長 平田 祐二 氏

あきる野市議会議員・議選監査委員・元議長 子籠 敏人 氏

コーディネーター 可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩 氏

コメンテーター 大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

セッション「委員会代表質問を活かす」

講演 法政大学 教授 土山 希美枝 氏

事例 甲賀市議会 副議長 田中 將之 氏

事例 別海町議会 議長 西原 浩 氏

講演「早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査から」

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

〔所 感〕

能登半島では、僅か 60 秒で生命、長く続いた財産を失った。ほぼ全世帯が

被災した珠洲市、大津波警報を警察官とあって知ったと話す能登町。

熊本地震では、死者 88 名のうち関連死が 82 名。トイレの問題があった。

珠洲市では、災害直後に集まった職員は 200 名中十数名の状況。議員全員確認

が 1 月 5 日、1 月 26 日に全員協議会を開催という状況。

議会は発災時、応急時、復興期とその時期に応じた対応が必要であり、各期で

議会が果たすべき役割と避けるべき行動を明確にし、あらかじめ議員間で共有

することの必要性を再認識した。また、災害対策本部には、議長がオブザーバー

として参加。常に、首長の隣に議長がいるという議会と災害本部との関係づくり

が必要。市民にとって、議会は「最後の頼みの綱」、議論の場を常に関開け、市民が

意見を届けられる議会であり続けるのが重要と思った。

大規模災害での断水によるトイレの問題は大きい。今回の能登半島地震に於
いて、熊本市では、支援職員用のキャンピングカーの他、トイレカーの支援が
あった。いつ起こるかわからない大規模災害、直接死のみならず関連死への対策
も重要である。各自治体にトイレカーを設置し、大災害時自治体間で協力できる
体制整備も重要と感じた。
当市議会に於いても、議会 BCP を作成し災害に対応できる体制は作っている。
しかし、普段実施していないことは災害時にはできない。今回の大きな学びで
ある。普段の訓練と見直しの重要性を実感した。

全国地方議会 サミット2024

07.10^水&11^木 早稲田大学&オンライン

非常事態への備え これからの議会

能登半島地震で被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

2024年元日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらし、今なお復興のさなかにあります。

災害対応や支援のあり方、最新技術やデジタル、各地の経験をどう活かしていけるのか――。

地域や住民の生活を守るために、私たちが学ぶべき現場の実践・経験知について、現場で対応にあたる当事者や経験者とともに議論します。

非常事態や様々な課題への対応、強い地域をつくる「これからの議会」を提起・発信します。

7/10^水 Day1
13:00-17:30

基調講演 生活を支える強い地域を議会がつくる

早稲田大学マニフェスト研究所 顧問 北川 正恭 氏

能登半島地震被災地の議会からの報告

輪島市議会議員・元議長 橋原 正洋 氏

珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏

能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏

熊本地震の経験と自治体間支援の現場から

熊本市長 大西 一史 氏

能登半島地震と珠洲市の状況と対応

珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏

大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏

防災DXの最前線と今後の展開

立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長

防災 DX 官民共創協議会 理事長

白田 裕一郎 氏

災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性

佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー

宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

東日本大震災の経験から

元総務大臣 片山 善博 氏

終了後意見交換会

(先着150名様、参加費4,000円、要申込)

7/11^木 Day2
10:00-16:00

非常事態への備えと議会の対応・役割

法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏

[パネルディスカッション]

東日本大震災の経験をふまえた災害対応

久慈市議会議長 濱欠 明宏 氏

大規模復興と議会のあり方

陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜 氏

住民避難・離散と自治体・議会の活動

双葉町長 伊澤 史朗 氏

デジタル・生成 AI を活かす

デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏

議会改革の最新トレンドとトピックス

議会改革の軌跡と展望

ーマニフェスト選挙から20年、その先に！ー

大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

[パネルディスカッション]

議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携

あさ野市議会議員・議選監査委員・元議長 子籠 敏人 氏

可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩 氏

可児市監査委員事務局長 平田 祐二 氏

委員会代表質問を活かす

法政大学 教授 土山 希美枝 氏

甲賀市議会、別海町議会

早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革度調査」から

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏

全国地方議会サミット2024

検索



※プログラムは現時点の予定であり、変更になる可能性があります。 <https://maniken.jp/summit/>

日時 | Day1 | 2024年7月10日(水)13:00-17:30
| Day2 | 7月11日(木)10:00-16:00

会場 | 早稲田大学井深大記念ホール
※会場の都合により大隈記念講堂から変更になりました
オンライン配信あり(Zoomミーティング)

対象 | 議員、議会事務局・自治体職員、市民等

定員 | 会場 | 先着400名様 | オンライン | 定員無し

参加費 | 議員 | 11,000円
| 一般 | 5,500円 ※いずれも税込、2回を越えての参加です。

申込方法 | ウェブもしくは裏面のFAX申込書より 期日:2024年6月30日(日)

主催 | ローカル・マニフェスト推進連盟 | 共催 | マニフェスト大賞実行委員会

協力 | 早稲田大学マニフェスト研究所

後援 | 全国市議会議長会 全国町村議会議長会

問合せ | 電話 | 03-6709-6739 | メール | mani@maniken.jp

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 担当:亀井・山内

主催

ローカル・マニフェスト推進連盟

共催



Manifesto Awards

協力

早稲田大学
マニフェスト研究所

後援



全国市議会議長会



全国町村議会議長会

全国地方議会サミット 2024「非常事態への備え これからの議会」

Day 1 2024 年 7 月 10 日 (水曜日) 13 時から 17 時 30 分まで
Day 2 2024 年 7 月 11 日 (木曜日) 10 時から 16 時まで
会 場 早稲田大学国際会議場井深大記念ホール／オンライン併用

WiFi のご案内：

<ワイヤレスネットワーク接続 (SSID) (A) > waseda-event010

<セキュリティキー (B) > vB8aFS4n

※SSID を選択後、ビジター登録が必要です。

プログラム

Day 1 2024 年 7 月 10 日 (水曜日)

13 時 00 分 開会

13 時 08 分 基調講演「生活を支える強い地域を議会がつくる」

早稲田大学名誉教授 北川 正恭 氏

13 時 30 分 パネルディスカッション「能登半島地震被災地の議会からの報告」

輪島市議会議員・元議長 椿原 正洋 氏

珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏

能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏

14 時 30 分 休憩

14 時 40 分 セッション「震災・災害対応の経験と自治体間支援の現場から」

14 時 40 分 講演「熊本地震の経験と自治体間支援の現場から」

熊本市長 大西 一史 氏

15 時 10 分 講演「能登半島地震と珠洲市の状況と対応」

珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏

大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏

15 時 20 分 対談

16 時 50 分 休憩

16 時 00 分 セッション「災害対応への DX 活用事例」

16 時 00 分 講演「防災 DX の最前線と今後の展開」

国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長

防災 DX 官民共創協議会 理事長 白田 裕一郎 氏

16 時 30 分 講演「災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性」

佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー

宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

16 時 55 分 休憩

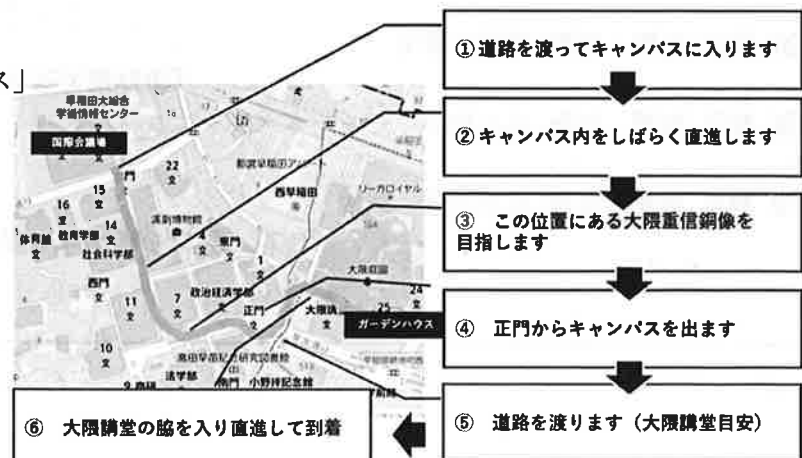
17 時 00 分 講演「東日本大震災の経験から」

元総務大臣 片山 善博 氏

17 時 30 分 Day 1 終了

※意見交換会会場「大隈ガーデンハウス」
(18 時 00 分開始)

意見交換会会場 MAP



Day 2 2024 年 7 月 11 日 (木曜日)

- 10 時 00 分 開会
- 10 時 02 分 セッション「非常事態への備えと議会の対応・役割」
講演 法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏
- 10 時 30 分 パネルディスカッション
コーディネーター 法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏
「東日本大震災の経験をふまえた災害対応」
久慈市議会 議長 濱欠 明宏 氏
「大規模復興と議会のあり方」
陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜 氏
「住民避難・離散と自治体・議会の活動」
双葉町長 伊澤 史朗 氏
- 10 時 20 分 休憩
- 11 時 30 分 講演「デジタル・生成 AI を活かす」
デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏
- 12 時 00 分 休憩
- 13 時 00 分 セッション「議会改革の最新トレンドとトピックス」
- 13 時 00 分 講演「議会改革の軌跡と展望—マニフェスト選挙から 20 年、その先に！—」
大正大学 教授 江藤 俊昭 氏
- 13 時 20 分 パネルディスカッション「議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携」
可児市監査委員事務局長 平田 祐二 氏
あきる野市議会議員・議選監査委員・元議長 子籠 敏人 氏
コーディネーター 可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩 氏
コメンテーター 大正大学 教授 江藤 俊昭 氏
- 14 時 05 分 休憩
- 14 時 15 分 セッション「委員会代表質問を活かす」
講演 法政大学 教授 土山 希美枝 氏
事例 甲賀市議会 副議長 田中 將之 氏
事例 別海町議会 議長 西原 浩 氏
- 15 時 05 分 休憩
- 15 時 15 分 講演「早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査から」
早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
- 15 時 45 分 クロージング
- 16 時 00 分 Day 2 終了 (閉会)

※プログラムは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

視 察 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 7 年 10 月 30 日

北上市議会議長 様

北上市議会

議員 小原享子

私が参加した次の研修について次のとおり報告します。

期 間	6 年 10 月 9 日（水）～10 月 10 日（木）
研修事項	第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡 「大会テーマ 主権者教育の新たな展開」

〔報 告〕

・基調講演「人口減少社会における地域の未来図」

第 99 代内閣総理大臣 菅 義偉

ビデオメッセージ

・パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」

コーディネーター 静岡大学人文社会科学部法学科教授 井柳美紀

パネリスト 法政大学法学部教授 土山希美枝

一般社団法人 WONDER EDUCATON 代表理事 越智大貴

読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 渡辺喜久

盛岡市議会議長 遠藤政幸

・課題討議「主権者教育の取組報告」

コーディネーター 東北大学大学院情報科学研究所准教授 河村和徳
事例報告者 伊那市議会前議長 白鳥敏明
四日市市議会議員 諸岡 覚
山鹿市議会議長 服部 香代

〔所 感〕

今回のテーマは、地方議会の役割及び議員の職務等の明確化などを内容とする

地方自治法の一部改正法が成立し、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた

環境整備が進められる中、地方議会は、投票率の低下や無投票当選の増加など、

議会への関心の低下や議員の成り手不足が深刻化している。今後、法改正を踏ま

え、女性や若者など多様な人材の議会への参画を一層進めていくことが必要。

そのため、将来地方議会を担うこどもたちへの主権者教育の取組みが重要であり

好事例の横展開を推進することであった。

地方議会の課題と主権者教育では、主権者教育の主体は学校であり、

議会は教育の場ではない。議会は高校生を若き市民と受け取め、その声をどう

政策に生かすかが重要である。

盛岡市では、若者、学生との意見交換の場をもりおか mirai ミーティングを

実施している。大学にお出かけ、新たな地域で大活躍するために、20年後の

盛岡市などワールドカフェ方式での対話の機会を作っている。

当市においても、中学生と対話する機会を作ったことはあるが、こどもや若者

の声を聴く機会を作る事の難しさを感じる。市の政策に結び付けるための
意見を聴く機会を作りだすことが必要と思った。
主権者教育の取組報告では、伊那市議会では魅力ある議会づくり検討会を
設置し、高校生に議会傍聴や意見交換を市内全高校に広げ実施していた。
四日市市議会では、ワイワイ GIKAI を開催。若年層対象に出張形式で、学校
からの依頼や、社会人も対象に実施している。市議会だよりでは、こども号の発
行など主権者に教えてもらい、考えを学ぶ機会を作っている。
山鹿市議会では、なりたい職業ランキングベスト 10 を目指して、小学校でシチズ
ンシップ教育を開催。
様々な議会で、工夫し取組んでいる。議会は、教える立場での関りではなく、
子供たちも含め、多くの市民の声に耳を傾け、学ぶ姿勢が重要と思った。
当市においても、様々な活動をしているが、議会としてこども達はじめ、
多様な声に応えられることを目指していくことが主権者教育につながり、議会
に目を向け興味を持ってくれる機会になると感じた。そして、子どもたちの成り
たい職業ベスト 10 入り出来たらおもしろいと思った。

第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



「大会テーマ
主権者教育の新たな展開」



令和5年

10月9日[水] ▶ 10日[木]

トーサイクラシックホール岩手
(岩手県民会館)



- 主催: 全国市議会議長会
- 後援: 総務省
- 協賛: 全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター
- 実施: 第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

視察・研修等報告書

令和7年1月29日

北上市議会議長 様

北上市議会
議員 小原享子

私が参加した次の 視察・研修 について次のとおり報告します。

期間（期日）	令和7年1月29日（水）
視察先 視察内容 または 研修事項	第25期自治政策特別講座 明るい未来への予算審議へ オンライン参加

〔報 告〕

第3講義「地域の未来予想図」

—人口・環境など予測データ「未来カルテ」を使った逆算の政策づくり

講師：千葉大学大学院社会科学研究院 教授 倉阪 秀史 氏

背景

- （1）長期的な対応が求められる課題に対するバックキャスティング型政策形成
- （2）脱炭素社会の実現
- （3）人口減少・高齢化に伴う地域課題の解決

未来ワークショップの内容 カーボンニュートラルシュミレーターとは 未来ワークショップの実績
第4講義 気兼ねなく「おでかけ」できる地域づくり —自治体の適切な認識と具体的な行動が急務 講師：名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 教授 加藤 博和 氏 地域公共交通に関する「9つの勘違い」 地域公共交通再構築（リデザイン）5つの鉄則

〔所 感〕

行政計画には、長期的に人口減少、高齢化の進行や、カーボンニュートラ
ルの問題など、時間的視野を超えた長期的な課題がある。それら課題解決
のためには、「気づきのための未来予想」を社会の構成員、市民と行うことが
重要である。各地で未来カルテを使つての未来ワークショップが行われて
いる。
未来カルテとは、自治体別に、このままの傾向が2050年まで続いたとした
らどのような社会になるかさまざまなグラフで示すもの。人口、産業構造、
保育・教育、医療・介護、公共施設・道路・住宅、農地・農漁業、森林・林
業、再生可能エネルギー、財政といった項目で将来が視覚化されている。

(研究プロジェクト「オポッサム(OPoSuM-DS／OPoSSuM)」の成果物)

その自治体の中高生も、この未来カルテを活用し、その自治体の首長になり
政策を検討するワークショップが紹介され、内容も興味深いものがあった。

当市の政策を考える時、目の前だけの状況から考えるのではなく、将来の
状況をリアルにイメージしての取組、市民みんなで考えていくことの必要性
を認識した。若い人たち、子ども達の意見をまちづくりに生かせる方法
はないかと考えていたが、この方法であれば活用でき意見を聴けると思う。
議会においても、議員間で北上市の未来予想図を活用して政策を検討出来れ
ば、よりリアルな政策が提案できるかもしれないと感じた。

また、気兼ねなく「おでかけ」できる地域づくりについての講義では、
地域公共交通確保維持改善の「地域公共交通計画」には、1. 目的の明確化
2, 適材適所 3. 一所懸命 4. 組織化 5. カイゼンの5つの鉄則を肝に銘じ
て書くことの重要性を学んだ。

地域公共交通政策は、だれでも気兼ねなく「おでかけ」でき、「おでかけ」
が楽しくなり、「おでかけ」を効率的にすること。

「将来クルマを運転できなくなったら利用したい」はありえない。クルマを
運転できなくなった時は、自由に外出できなくなる時。クルマに乗れるうち

に公共交通も乗るようにしておくことが必要で、公共交通乗車訓練が必要
有効な手を打たないと、高齢者が増えても公共交通利用できない。
クルマ依存の高い田舎ほど不健康。まさに、この地域の現状と感じた。
地域公共交通の公的維持スキームは「健康（健幸）保険」のしくみと同じで
保険料（乗らない人も負担）、自己負担を納得して払っていただけるサービス
をつくり意識共有を進めることも必要で、今後負担の仕組みの検討も必要
である。
今後も健康寿命の延伸と合わせ、公共交通の在り方を考えたい。

2025

明るい未来への 予算審議へ

1月28日(火)
13:00~16:20

2025年 1月29日(水)
10:00~15:00

第1講義 13:00~14:30

徹底解説!

基礎から学ぶ
予算審議



星野 泉

明治大学政治
経済学部 教授

第2講義 14:50~16:20

社会的孤立と地域
・自治体の課題

—私たちは何をなすべきか



石田 光規

早稲田大学文学学術院
文化構想学部 教授

第3講義 13:00~14:30

地域の未来予想図

—人口・環境など予測データ
「未来カルテ」を使った
逆算の政策づくり



倉阪 秀史

千葉大学大学院
社会科学研究院 教授

第4講義 13:00~14:30

気兼ねなく「おでかけ」
できる地域づくり

—自治体の適切な認識と
具体的な行動が急務



加藤 博和

名古屋大学大学院
環境学研究科 教授

参加場所

電設年金会館(東京都新宿区大久保) × オンライン(ZOOM)

参加料

2日間 30,000円 1日のみ 20,000円

各講座の詳細についてはこちらのQRコードからご覧ください。▼

主催

自治体議会
政策学会

E-mail: copa@copa-web.net
TEL: 03-5227-1827 〒112-0013
東京都文京区音羽 1-5-8 イマジン第2オフィス



視 察・研 修 等 報 告 書

令和 7 年 3 月 30 日

北上市議会議長 様

北上市議会

議員 小原享子

私が参加した次の研修について次のとおり報告します。

期 間	7 年 3 月 29 日（土）～3 月 30 日（日）
研修事項	「マニフェスト・アワード・コレクション」 ・ 議会基本条例は、本当に役に立っているか？ ・ 住民を巻き込む最新事例と改革のポイントを探る ・ 進化する政策づくり ・ 市民と連携する投票率向上

〔報 告〕

議会基本条例は、本当に役に立っているか？

栗山町議会 議長 鶴川 和彦氏

議員のなり手不足問題に挑む「議員の学校」開校

芽室町議会 議長 梶澤 幸治氏

議会基本条例の実践～条文が真に生かされる議会活動～

奥州市議会 議長 菅原 由和氏

「奥州市議会 ICT 推進方針」の実践

パネルディスカッション

(コーディネーター:江藤 俊昭 大正大学地域創生学部 教授)

住民を巻き込む最新事例と改革のポイントを探る

丹波市議会 議長 谷水 雄一氏 :夢を語ろう 未来へつなごう 丹波市議会ミライブ
プロジェクト～市議会×大学生×高校生～

王寺町議会 議会事務局 村田大地氏 :広報の改善からはじまった議会改革への道
—住民・議員の行動変容—

宮崎市議会 広報広聴委員会 委員長(副議長)日高 昭彦氏

広報広聴委員会 副委員長 金丸 勇太氏

新たな広報広聴への挑戦～デジタルとリアルの融合でつくる～

パネルディスカッション

(コーディネーター:千葉 茂明 公益財団法人 日本生産性本部上席研究員)

進化する政策づくり

基調講演「SNS と選挙、政策づくり。課題とこれから」

山口 真一氏(国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授/博士(経済学)) SNS と選挙、政策づくり 課題とこれから

チーム安野(坪井遥氏)

2024年東京都知事選挙における参加型マニフェストの取り組み

よこはま自民党(横浜市会議員 黒川 勝氏)

よこはま自民党ローカルマニフェストで市民と約束した『こども条例』の制定とその後

パネルディスカッション

(コーディネーター:川名 雄児 LM 推進連盟事務総長・武蔵野市議会議員)

市民と連携する投票率向上

北海道松前高等学校(松前高校 阿部 将大氏)

高校における主権者教育 模擬投票

岐阜県若者の選挙意識を高める会(Novolt)(代表 繁 ハナ子氏)

小学生が「権力の監視」を考える 大学生・学校・選管・大学がコラボした授業設計・実施・検証

選挙コンシェルジュ(松山市選挙管理委員会事務局 白川 剛士氏)

選挙コンシェルジュについて

パネルディスカッション

(コーディネーター:川上 文浩 LM 推進連盟共同代表・可児市議会議員)

〔所 感〕

議会基本条例は、議会の最高規範ということで当市に於いても規定している。

しかし、本当に議会基本条例が役に立っているのだろうか。他自治体は、議会基本条例をどのように活用しているのだろうと思い受講した。

栗山町議会に於いては、毎年の見直しの中で、11度の改定を行っている。

議会報告会も議会基本条例に規定することで実施している。当市に於いては、議会活動の根拠にはなっているが、何をするかまで明確に規定してない。

芽室町議会では、町の課題を議会基本条例に基づき、タイムリーな情報発信を行っている。当市においても、様々な課題がある中、話し合われた情報を市民にタイムリーに発信という点では、まだまだ改革は必要と思われる。

奥州市議会においては、条例の検証を、自己評価や会派での評価に留まらず
第三者評価も行い、PDCA サイクルシート行動計画の策定まで結び付けていた。
議会基本条例を役立てるためには、常に基本条例に意識を向けるとともに
使える議会基本条例にしていくことも必要と思われた。
また、奥州市議会における生成 AI を活用方法も興味深かった。ライブ字幕を
会議録速報に生かす、会議録の署名を電子署名にするなど。ChatGPT を対話・
議論の補助に活用し、議論の見落としを生成 AI で補うや、広報にも活用など
議会運営にも ICT は活用が広まると感じた。
住民を巻き込む改革に於いては、丹波市議会での高校生と大学生、市議会議
員の意見交換の取り組み。ファシリテーターを大学生が行い、高校生が提言を行
う取り組みも興味深かった。
王子町議会の広報改善の取り組みでは、ターゲットとコンセプトを決めて紙面
の内容を決める必要性。中々読まれない広報、自分に必要な情報が判断する時間
は、0.3 秒、市民の関心を引き出す工夫の必要性を感じた。
宮崎市議会 DX みやだん、双方向のコミュニケーションツールとしても使い
スマホで見やすく、デジタルとリアルを合わせて誰でも参加できる議会を目指す
取り組みで様々な方法が各地で考えられている事を知る機会となった。

2日目の深化する政策づくり、SNSと選挙、今後はSNSや動画共有サービスが
活用される時代。誹謗中傷やフェイクの問題もあるけれども、活用方法を身に付
ける必要があるのだろうと思った。
投票率向上について、高校でのリアルに選挙を体験する取り組み、大学生や
若い方々が中心となって、選管と一緒に取り組みなど、大学生が活躍している
現状を聴き、今後に取り組みに期待が膨らんだ。

3.プログラム

▶ 3月29日(土) 13:00-17:00

議会基本条例は、本当に役に立っているか？(13:10-14:10)

栗山町議会 議長 鶴川 和彦氏
芽室町議会 議長 梶澤 幸治氏
奥州市議会 議長 菅原 由和氏
パネルディスカッション
(コーディネーター：江藤 俊昭 大正大学地域創生学部 教授)

住民を巻き込む最新事例と改革のポイントを探る(14:20-15:20)

丹波市議会 議長 谷水 雄一氏
王寺町議会 議会事務局 村田大地氏
宮崎市議会 広報広聴委員会 委員長(副議長) 日高 昭彦氏
広報広聴委員会 副委員長 金丸 勇太氏
パネルディスカッション
(コーディネーター：千葉 茂明 公益財団法人 日本生産性本部上席研究員)

参加者同士のブレイクアウトセッション(15:30-16:30)

全体発表・クロージング(16:30-17:00)

▶ 3月30日(日) 10:00-16:00

進化する政策づくり(10:05-11:45)

基調講演「SNSと選挙、政策づくり。課題とこれから」
山口 真一氏(国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授/博士(経済学))
チーム安野(坪井遥氏)
よこはま自民党(横浜市会議員 黒川 勝氏)
パネルディスカッション
(コーディネーター：川名 雄児 LM推進連盟事務総長・武蔵野市議会議員)

ランチ休憩(11:45-13:00)

市民と連携する投票率向上(13:00-14:00)

北海道松前高等学校(松前高校 阿部 将大氏)
岐阜県若者の選挙意識を高める会(Novolt)(代表 繁 ハナ子氏)
選挙コンシェルジュ(松山市選挙管理委員会事務局 白川 剛士氏)
パネルディスカッション
(コーディネーター：川上 文浩 LM推進連盟共同代表・可児市議会議員)

参加者同士のブレイクアウトセッション(14:15-15:15)

全体発表・クロージング(15:15-16:00)

zoom 開催

マニフェスト・アワード・コレクション

2025.03.29 & 30

SAT

SUN

Day1

Session1

議会基本条例は、
本当に
役に立っているか？

事例発表 ハネルデイスカレッジ

栗山町議会
芽室町議会
奥州市議会

江藤 俊昭
大正大学教授

Day1

Session2

住民を巻き込む
最新事例と
改革のポイントを探る

事例発表 ハネルデイスカレッジ

丹波市議会
王寺町議会
宮崎市議会

千葉 茂明
日本年金は本気で検討だ

Day2

Session1

進化する
政策づくり

基調講演

事例発表 ハネルデイスカレッジ

山口 真一

国政選挙プロフェッショナル・コミュニケーション・センター
代表取締役

チーム安野
よこはま自民党

Day2

Session2

市民と連携する
投票率向上

事例発表 ハネルデイスカレッジ

北海道松前高等学校

岐阜県若者の選挙意識を
高める会

選挙コンシェルジュ